

(様式2)

豚熱ワクチン接種適期の検討

： 飯田家保 松澤直樹

1 2019年10月末、管内飼養豚全頭への豚熱ワクチン
2 接種（接種）開始。1から2カ月齢時とされる子豚へ
3 の接種の適期日齢を検討するため調査実施。繁殖豚全
4 頭に接種済みの一貫養豚農場1戸にて、個体識別可能
5 な子豚19頭の30、40、50日齢時及び各日齢での接種
6 から5週間後の血清延べ56検体、各子豚の母豚血清5
7 検体を用いて豚熱抗体ELISA検査及び中和試験を実施。
8 移行抗体のELISA陽性率、中和抗体価（抗体価）16倍
9 以上の割合は共に30日齢で100%、40及び50日齢に
10 かけて低下。接種5週間後のELISA陽性率は40日齢接
11 種で44.4%、50日齢接種で60%、抗体価2倍以上の
12 割合は40日齢接種で77.8%、50日齢接種で90%。抗
13 体価2,048倍以上の母豚の子豚は、50日齢時点でも16
14 倍から32倍の抗体価を保持。中和抗体獲得群でも
15 ELISA検査では群免疫不十分と判定される場合も鑑み、
16 防疫指針上有効とされる80%以上の群免疫付与のた
17 めには、50日齢以降での接種が妥当と考えられた。